



授業構想シート
授業構想チェックシート
Rシート

実施時期 令和 4年9月中旬 ~ 11月中旬 学部 高等部

指導の形態 作業学習 作業種目 ものづくり 教科 職業 指導領域 職業生活

実態 実態について

- 個別の教育支援計画を確認 (その子どもに必要なこと?) 個別の指導計画で領域を確認
- 知識を段階化した一覧を実態表として使用し、実態を把握
- 「できない」ことは問題でなく、つまずきの原因が重要
 - (1) この題材で達成が可能? 【可能性】 (2) 現在の生活で必要は? 【必要性】
 - (3) 将来の豊かな生活につながる価値は? 【価値性】

<知識及び技能>

- 対象生徒:C
- ・交互に編み込むなどの工程であれば、教師の仕方を見たり、手順を聞いたりして、手順通りに作業を進める
 - ・17段目の接着剤をつける時、量が多すぎてテープからはみ出ることがある
- <思考力・判断力・表現力>
- ・どんなことに気をつけているか、どうしてその仕方がよいのかを尋ねると、「しっかり引っ張る」「隙間がなくなるから」などと答える
 - ・編む段数が多くなってくると、隙間ができたり、やテープがななめになっていることに気づかないことがある
- <学びに向かう力・人間性>
- ・慣れた作業だと、時間いっぱい取り組む
 - ・教師が間違えたところを指摘すると、「ぼくには向いていないかも」などと言う

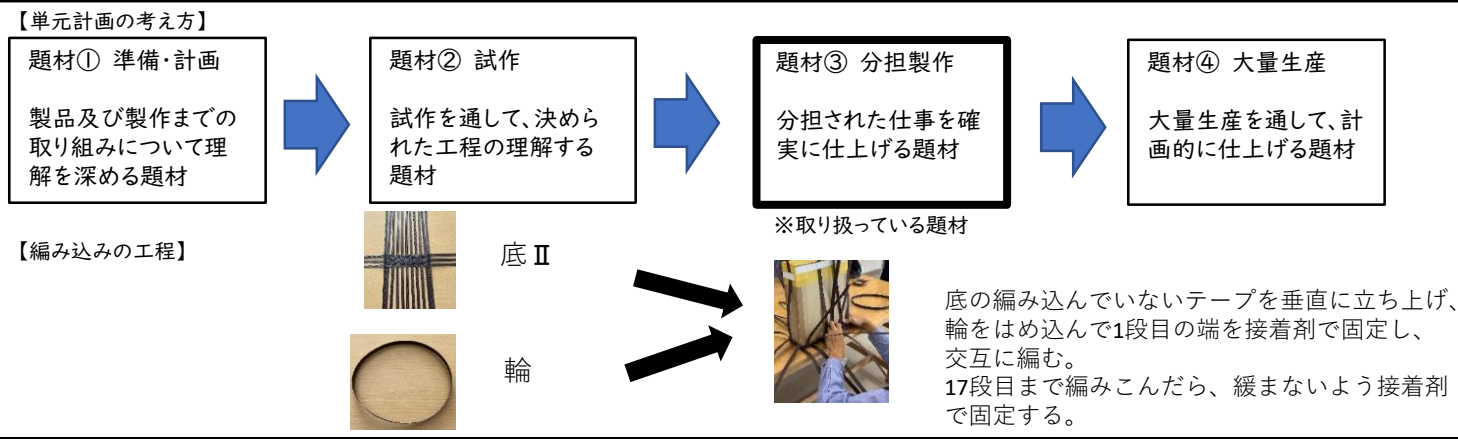
学習指導要領の扱う段階の目標と内容 * 中学部2段階

- 【知識及び技能】
作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けること(Aイ(ア)㊸)
- 【思考力・判断力・表現力】
作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫すること(Aイ(イ)㊹)
- 【学びに向かう力・人間性】
よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う

【どうなってほしいかを三つの柱で整理】

<p>【何を学ぶ?(知識)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端の合わせ方、折り目の強さ ・接着剤の適切な量 ・輪の継ぎ目を合わせる位置や交互の基準となるテープの位置 ・固定する時の手順 	<p>【〇と判断できる発言や姿】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①縦のテープを底の端に合わせて、しっかり折り目をつけて立ち上げる ②1段目の輪の両端に接着剤をつける ③輪の継ぎ目が縦のテープの裏側になるように入れ、まっすぐ引っ張りながら交互に編む ④編み込みが交互にまっすぐ、隙間がないかを確かめる ⑤17段目まで編んだら、17段目の輪と縦のテープを、接着剤でつけ、乾くまで、せんたくばさみで固定する) 	<p>【大まかにどう段階化する?(詳細は題材計画で)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編み込みの中で細分化された工程を、一つずつ取り組み増やしていく(易→難) ・教師のチェックや支援する回数を徐々に減らす
<p>【どう学ぶ?(活動)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が良品の視点、その手順や仕方をするよさを尋ね、説明する 	<p>【〇と判断できる発言や姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しっかり引っ張って編む」「隙間がない」などと言ったり、仕方を教師に見せたりする ・「斜めになっていない」「接着剤をつける前に確かめる」などと言う ・「ボンドの量が多い」「はみ出ると修正が大変もしくはできなくなる」などと言う ・「交互になっている」「基準になる位置から、交互になっているか確かめる」などと言ったり、基準になる位置を指したりする ・半製品の出来具合を尋ねた時、「やり直しをするのに時間がかかる」「次の工程が困る」などと言う 	<p>【大まかにどう段階化する?(詳細は題材計画で)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半製品やシートを使って、視覚的に確かめながら答える ・工程のつながりや決めた手順や仕方を理解できるように、言葉で答える ・出来た半製品を、良品の視点に沿って、自分で確かめる
<p>【望む姿勢や姿は?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲をもち、自分から取り組む ・友だちと手順や仕方について話し合う 	<p>【どう引き出す?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組む内容に見通しや達成感をもてるように、日誌で課題や気をつけてきたことなどを確かめる ・工程を細分化して一つずつ行い、達成感をもって課題に取り組めるようにする ・購入者からのアンケートをとり、喜ばれる製品を作っていることを感じられるようにする。 ・グループで良否の判断をしたり、手順や仕方を伝え合ったりする場面を設定する 	

【教材は?】 【教材名: トートバッグの胴部分の編み込み】



【全 28 時間をどう使う?(題材計画)】

	【一次】(2時間)	【二次】(16時間)		【三次】(10時間)
知・技	良品の視点(まっすぐ、隙間なく編み込む)を知る	・2~17段目の編み込みをする時、良品の視点や手順がわかり、しっかり引っ張りながらまっすぐ編み込む	・17段目の接着する時、良品の視点、手順や仕方がわかり、決めた量の接着剤を適切な位置につける	・1段目の編み込みをする時、良品の視点、手順や仕方がわかり、交互にまっすぐ立ち上げて、正しい位置から編み込む
思・判・表		・教師が、2~17段目の編み込みの良品の視点、その手順や仕方を尋ねた時、決めた手順や仕方を尋ねた時、決めた仕方でやるよさがわかり、「まっすぐ、隙間がない」「しっかり引っ張って編むと隙間がなくなる」「接着剤をつける前に確かめる」などと言ったり、仕方を教師に見せたりする	・教師が、17段目の接着の良品の視点、その手順や仕方を尋ねた時、決めた仕方でやるよさがわかり、「ボンドがはみ出ると、見た目が悪くなる」「綿棒でボンドをとる量を気をつける」などと言う	・教師が、1段目の編み込みの良品の視点、その手順や仕方を尋ねた時、決めた仕方でやるよさがわかり、「継ぎ目が見えないように裏側で隠れるようにする」「この位置が編み込みの基準になる」などと言う
主体的姿	<input checked="" type="checkbox"/> わからないことがあった時に、自分から教師や友だちに質問する <input checked="" type="checkbox"/> 友だちと確かめ合いながら、作業をする <input checked="" type="checkbox"/> めあての達成において、粘り強く取り組む <input checked="" type="checkbox"/> 次々と作業を進める			

【めあて達成のための工夫は?(場面設定・教具・働きかけなど)】

【工夫点】

- ・半製品の良否の視点を提示(右図 ※良か不良か、その内容を書き込む)
- ・この半製品は、良品か不良品か、どうしてその手順をしているのか、を尋ねる
- ・「〇〇に気をつけたから、よい半製品ができたね」「〇〇したから、次の工程がスムーズにできたね」などと、意味づけながら認める

【意図(ポイント)】

- ・決めた仕方でやる必要性やよさを感じられるように
- ・工程の一部を担っているという責任感をもてるように

【1時間をどう展開する?】

学習活動	意図と働きかけ(主発問・みとめ・タイミングなど)	【板書・配置・教具など】 道具置き場
前時の振り返りと本時のめあての確認をする	・前回の課題や本時でがんばることがわかるように、日誌にねらいを記入したり、半製品やその写真を提示したりする	
決めた仕方で規格通りの半製品を作る	・手順の必要性が理解できるように、その手順やそのよさを教師が尋ねる ・良否を視覚的に判断できるように、イラストや半製品を提示して確かめるようにする	
良品の視点や、決めた手順や仕方を理解できるように、気をつけて取り組んでいる手順や仕方を、教師が尋ねる、友だち同士で気をつけているところなどに気づけるように、友だち同士に手順や仕方を確かめる時間を設ける	・正しい手順や仕方を理解しながら作業を進められるように、気をつけて取り組んでいる手順や仕方を、教師が尋ねる、友だち同士で気をつけているところなどに気づけるように、友だち同士に手順や仕方を確かめる時間を設ける	
本時を振り返り、次時の課題を知る	本時の成果と次時の課題がわかるように、よかった点や気をつける点を、作業日誌に記入して確かめるように伝える	

【評価】

開始時の姿(実態・課題)	指導・支援	結果
17段目まで規格通りに編み込みをできているか、一人で判断できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に良否を判断できるように、良否が見分けられるイラストや半製品を提示する ・工程を細分化して、一つずつ行う ・日誌やミーティングで、課題や成果について確かめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・輪を編み込むことについては、ほぼ規格通りにまっすぐ編み込むことができる ・1段目については、まだ自信をもって取り組むことができない

<p>① 9/13</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大まかな良品の視点を理解できた ・友だちや教師の編み方を見て、輪を隙間なく編み込むことができた 	<p>⑤ 11/7 ~ 11/9</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕方を3年生に聞いて、良品になるための細かな手順を理解することができた。(折り返しの時に、重なるようにテープを折る)
<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でやってみようという気持ち強い(一緒にやろうと教師が言うと、「一人でやってもよいですか」と言った) 	<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認を1段ずつ行い、自分で隙間の有無を確認することができるようにする 	<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、良品と不良品の半製品を見ながらポイントを確認して、作業をはじめ
<p>② 9/21 ~ 9/26</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隙間が空いていることに自分で気づくことができた 	<p>⑥ 11/14</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接着剤の量が多すぎたことに気づかなかった <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、確認した手順通り(重なるようにテープを折り返す)ことができた。
<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隙間なく編む手順が、定着してきている 	<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善方法の提示または確認の段階(良品のポイントを見る→友だち→教師) 	<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順を確認めるとともに、どうしたら良品になるか、不良品になるかを考える時間を設定する
<p>③ 9/30 ~ 10/6</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗した時に、自分で気づくことができた ・編みはじめの時に、つなぎ目を見えない位置にして、編みはじめた 	<p>⑦ 11/16</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検時に、友だちの言葉にわからないような表情をしていた <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一段目を、輪に交互に差し込むことができた
<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗しないようになりたいという意欲をもっている 	<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だち同士で確かめ合う時に、一方的に教えるかたちになってしまった
<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業日誌で、意欲をもって取り組めたことを認め、次時への意欲につながるようにする 	<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え方に気をつけながら、良品か確かめ合い、互いに意欲をもって取り組むよう伝える
<p>④ 10/14</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでできていた手順が雑になることがある <p>【うまくいったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師がその手順をするよさを尋ねた時に、「見た目が悪い」などと答えた ・はじめは斜めになっていることに気づけなかったが、その後意識して製作した 	<p>⑧ 11/24</p> <p>【うまくいかなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボンドの量の多さに、乾いてから気づいた ・一段目に十分取り組む機会がなかった
<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順が少しずつ増え、はじめに確認した手順や仕方を意識できなくなってきている 	<p>【気づいたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめるポイントが複雑で、手順に混乱した
<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに、日誌等を使って振り返りながら、本時のめあてを確認する 	<p>主・対で深い学びの実現に向けた改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かめるタイミングや手順を授業のはじめに確認する ・手順をさらに細分化するよう検討

実践のポイント

たてのテープの方向

良品か不良品かを判断するポイントを、確かめるためのシートを提示

17段目で接着剤の量が多いと、表面に固まった接着剤が見えてしまい、不良品となる。点検の担当の生徒から伝えてもらい、不良品の見本として、生徒に提示した

<1段目の手順>

- ①テープを道具に交互に差し込む
- ②輪を通す
- ③接着剤をつける

- ### 題材目標について
- それぞれの子どもを目標を個別化する
 - 授業の評価・改善ができるよう、題材の最後の姿(到達像)の具体化する
 - 身につけたいことを焦点化する
 - 前単元や題材、または、日常生活で意欲的に取り組めた工夫を活用
 - 例:教材の仕組み、学習環境の工夫など
- ### 教材について
- 子どもに身につけてほしい知識及び技能、生活に生かせるような思考力・判断力・表現力をその教材で習得・育成できる?
 - 必要性を感じ、課題をもてる?
 - 主体的・対話的な活動は取り入れられる?
 - 絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができる?
 - 子どもが自分でルールを決めたり、役割を設定したりできる?
 - 子どもにとっての強化子はある?
- ### 題材計画について
- つまずきの原因分析から、できること・わかることが段階化されている?
 - 子どもへの学び取りの傾向から課題の引き受けや実施方法が検討・工夫されている?
 - 全体の計画と個別の計画がわかるようになっている?
- #### 【一次】
- 仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできる?
 - 活動の意味やよさが十分理解できる?
- #### 【二次】
- 二次は確実な知識の習得
 - 子どもに到達してほしい頭の使い方がぶれていない?
 - 負荷がかかりすぎていない?
 - 支援が減る、問題の難易度が高まるなどしている?
 - 友だちと一緒に学ぶ場が計画されている?
 - 自分で考えた仕方や解決方法を生かせる仕組み?
- #### 【三次】
- できるようになったことを生かす場は設定されている?
- ### 学習環境について
- 活動の流れや量、しやすさを考えた道具材料の配置?
 - 不要な刺激は排除している?
 - 仕方や手順がわかりやすく伝えられる?
 - 成果が見てわかる?
 - 自分で仕方や手順を確認められる?
 - 教具は、思考(わかる)を補助できる?
 - 教具は一人で使えるようになる?
 - 期待感(してみたい!)をもてる?
- ### 学習活動について
- 導入は課題理解、興味関心
 - 展開は知識習得のため、教具の理解や操作が適切?
 - 発展は定着、応用、工夫できる?
 - 終末は自己評価と次時への意欲
 - 目的や意味、よさがわかる?
 - 何をどのくらいどのようにするかわかる?
 - 課題は段階的に高まっている?
 - 間違いに気づいてやり直せる仕組み?
 - 学習の結果と目的が繋がって達成感がもてる?
- ### 評価について
- めあてと指導はつながってる?
 - 文章・文法はわかりやすい?伝わる?
 - 不適切な表現はない?(難しい、できないなど)

働きかけについて (HOW TO)

- 自ら考え、判断して行動する手助けをするためのもの
- 活動「開始時」「途中」「つまずき」「終了時」を想定
- 誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけなどを行う
- 子どもに合わせた伝わりやすいことばや提示
- 抑揚や身振り、表情、子どもの好きなものなど工夫
- つまずきに対して答えてなく段階的な働きかけ
- 課題遂行につながる効果的なことばかけ
- 何がよかったかわかるよう即時評価
- よさや価値を伝えられる認め
- 働きかけを段階的に減らしていく工夫